

令和6年度

社会調査実習報告書

第 13 号

淑徳大学

コミュニティ政策学部

はしがき

本報告書は、淑徳大学コミュニティ政策学部コミュニティ政策学科の「社会調査実習」を履修した学生の調査研究の成果である。

コミュニティ政策学科では、専門科目（社会学分野）の教育目標に「社会事象や社会に関連する諸事実を明らかにするために、データの収集から分析にいたるまでの基礎的な事柄を理論と方法の両面から理解する」ことを据え、コミュニティ研究の方法の1つである社会調査を学生が体系的に学習するためのカリキュラムを組んでいる。1年次前期に「社会調査論」、1年次後期に「社会調査法」、2・3年前期に「統計解析法」と「社会統計学」、2・3年後期に「量的解析法（令和5年度のカリキュラム改正後は、応用統計解析法）」を履修する。これらの計5科目の単位を修得済みであることが、3・4年前期開講の「社会調査実習」の履修条件となっている。

「社会調査実習」は、それまでの各社会調査関連科目での学びの集大成として、研究テーマの設定から、テーマに関わる仮説および分析方法の検討、調査票の作成、実査、データの集計と解析、そして報告書による成果の公表という社会調査の一連の過程に、学生が主体となって取り組むものである。

令和6年度の科目担当教員は青柳涼子と山本功であり、履修学生は3名であった。3名ともこの「社会調査実習」（科目認定番号：SKTb-240601-0）の単位修得をもって「社会調査士資格」取得に必要な科目をすべて履修済みとなる。

令和6年度は、「町内自治会活動」をテーマとして取り上げた。町内自治会は、地域に暮らす住民同士のつながりを築き、地域社会の円滑な運営を支える重要な存在である。具体的には、防災や防犯、清掃美化活動、地域行事の運営など、日常生活に密着した活動を担っている。しかし近年では、少子高齢化の進行や単身世帯の増加、働き方や生活スタイルの多様化などの社会的影響を受け、町内自治会活動への関心の低下や担い手の減少といった問題が起きている。

こうした状況をふまえ、本調査研究では、以下のような問いを立て、町内自治会活動の現状とその意義を明らかにする。すなわち、「人々は町内自治会活動にどの程度参加しているのか」「どのような属性・背景を持つ人々が積極的に関与しているのか」「こうした活動への参加は、個人や地域にどのような影響を及ぼしているのか」といった点に焦点を当て、3名の履修生がそれぞれの視点から調査と分析を行った。各履修生の分析には、なお検討の余地が残されているものの、それぞれに独自の視点が盛り込まれており、地域社会の現状を捉えるうえで有意義な知見が得られている。

調査の設計段階では、千葉市市民局市民自治推進部市民自治推進課より「町内自治会」に対するご講義を頂戴することができた。講義をとおして、町内自治会の位置づけ、主な活動、行政にとの関わり、直面する課題等について理解を深めることができた。

本調査の実施に際してご協力くださったすべての皆さまに心より感謝申し上げたい。

淑徳大学コミュニティ政策学部

教授 青柳涼子

教授 山本 功

目 次

はしがき	青柳 涼子・山本 功	i
第1章 調査概要	青柳 涼子	1
第2章 町内自治会へのコミットメントと地域愛着の関連の検討	吉村 大輝	4
第3章 町内自治会活動や地域活動への参加度と集合的効力感の分析	平賀 美那	13
第4章 一般的信頼と近隣住民に対する信頼及び地域活動参加の関連	坂ノ上 玲也	18
あとがき	青柳 涼子・山本 功	24
付録		
基礎集計表		27
調査票		43

第1章 調査概要

青柳 涼子

1. 調査概要

1) 調査目的と調査名称

本調査の目的は、地域社会における町内自治会の役割とその実態を明らかにすることにある。町内自治会は、防災、防犯、清掃美化、地域行事の運営などを通じて、住民同士のつながりを育み、地域コミュニティの維持に寄与している。しかし、少子高齢化やライフスタイルの多様化により、活動への関心や担い手の減少が課題となっている。こうした現状を踏まえ、本調査では、人々が町内自治会活動にどの程度参加しているのか、どのような属性の人が関与しているのか、活動への参加が個人や地域にどのような影響をもたらしているのか、という3つの観点から調査分析を行うこととした。

調査名称は、「地域社会および町内自治会活動に関する調査」である。

2) 調査対象

本調査の調査対象者は、千葉市在住の男女1,500人である。対象者の年齢は30～79歳で、住民基本台帳（2024年3月31日現在）で確認した性別年齢別人口の分布に基づきサンプルを割り当てた。調査方法はインターネット調査であり、株式会社クロスマーケティングに依頼した。

表1-1は、調査対象地域の性別年齢別人口とサンプル割付数を示している。

世代	男性	女性	計
住民基本台帳に基づく人口			
30～39	56,381	52,111	108,492
40～49	69,639	65,850	135,489
50～59	81,927	77,035	158,962
60～69	53,804	51,846	105,650
70～79	53,430	62,667	116,097
合計	315,181	309,509	624,690
サンプル割付数			
30～39	135	125	260
40～49	167	158	325
50～59	197	185	382
60～69	129	125	254
70～79	128	151	279
合計	756	744	1,500

調査期間は、2024年6月21日～6月28日である。

回収された1,500サンプルに対してエラーチェックを行ったところ、全サンプルが有効であることが確認された。

有効サンプルの性別年齢別分布を表1-2に示す。また、表1-2には、回収数/割付数の比を百分率で示した。70代女性のみ、登録モニター数が少ないために、割付数の6割程度の回収にとどまった。なお、70代は町内自治会の担い手として重要な層であると考え、男性票で補填した。

表 1-2 回収数と回収数/割付数の比

世代	男性	女性	計
	回収数		
30～39	135	125	260
40～49	167	158	325
50～59	197	185	382
60～69	129	125	254
70～79	184	95	279
合計	812	688	1,500
	回収数/割付数の比 (%)		
30～39	100.0	100.0	100.0
40～49	100.0	100.0	100.0
50～59	100.0	100.0	100.0
60～69	100.0	100.0	100.0
70～79	143.8	62.9	100.0
合計	107.4	92.5	100.0

表 1-3 各区の回収数と割合、および人口分布（参考）

	回収数	%	人口分布 %
中央区	346	23.1	21.9
美浜区	256	17.1	18.1
花見川区	276	18.4	16.1
稲毛区	249	16.6	15.0
若葉区	200	13.3	13.2
緑区	173	11.5	15.7
合計	1,500	100.0	100.0

表1-3は、千葉市の6区別にみた回収数と割合、および令和6年3月31日時点での各区の人口分布である。今回の調査のサンプルは、区ごとの人口分布に基づく割付を行っていないが、結果としては、いずれかの区の住民に回答が大きく偏ることはなかった。

3) 調査項目

以下に、主要な調査項目を示す。

- ・町内自治会活動の参加経験
- ・町内自治会活動の評価
- ・一般的信頼
- ・地域住民信頼
- ・地域愛着
- ・集合的効力感
- ・地域活動の参加経験
- ・近所づきあい
- ・基本属性（性別、年齢、家族構成、居住形態、居住年数など）

なお、回答者の性別と年齢については調査会社より提供された。これらは、調査会社にモニター登録している者が年1回更新しているデータである。

本調査の基礎集計結果および調査票は、本報告書巻末に収載されている。

第2章 町内自治会へのコミットメントと地域愛着の関連の検討

吉村 大輝

1. 問題意識と仮説

本章では、町内自治会活動への参加と居住地域に対する愛着にどのような関連があるかを検討する。この調査主題を掲げるに至った背景は、地域愛着の高低がその当該地域の町内自治会活動への参加によって変動するのであれば、これらを推進することによってシビックプライドを高め、ひいては当該地域の活性化につながるのではないかという疑問によるものである。

なお、町内自治会への参加といっても、その関わり方や程度には差があるだろう。町内自治会に加入しているか否か、役員を経験しているか否か、数多くの活動に頻回に参加しているか否か、などである。つまり、本章では町内自治会へのコミットメントの程度に注目し、地域愛着度との関連を分析する。今回の調査を通じて、町内自治会へのコミットメントと地域愛着との関連を解き明かし、地域活性化について考えるさいの手がかりとなるような結果が得られれば幸いである。そこで、以下4つの仮説を検討する。

仮説①「町内自治会に加入している人はしていない人よりも、地域愛着が高い」

仮説②「町内自治会の役員を経験している人はそうでない人よりも、地域愛着が高い」

仮説③「町内自治会活動への参加度が高い人は低い人よりも、地域愛着が高い」

仮説④「町内自治会への評価が高い人は低い人よりも、地域愛着が高い」

2. 使用する変数とその尺度化

(1) 町内自治会加入の有無と役員経験の有無に関する項目

町内自治会加入の有無と役員経験の有無を測定するため、調査票では「町内自治会（マンションの管理組合は除く）に加入している」という項目と「これまでに町内自治会の役員を経験している」という項目を用意し、それぞれに回答を得た（Q1）。あてはまるものすべてを選択する複数回答の設問内で、「町内自治会（マンションの管理組合は除く）に加入している」を選択した者を町内自治会加入者、そうでない者を町内自治会未加入者とした。また、「これまでに町内自治会の役員を経験している」を選択した者を役員経験者、そうでない者を役員未経験者とした。

その結果、町内自治会加入者は580人（38.7%）、町内自治会未加入者は920人（61.3%）、役員経験者は290人（19.3%）、役員未経験者は1,210人（80.7%）だった。

さらに、町内自治会加入率・役員経験の有無と性別・世代の関係を調べるため、クロス集計を行った。その結果が表2-1、表2-2である。

性別・世代と町内自治会加入の有無についてクロス集計を行ったところ、性別は有意な差は見られなかったが、世代は0.1%水準で有意な差がみられた。上の世代になるほど加入者は多く、特に60代は半数に迫り、70代では半数以上が町内自治会に加入しているという結果が得られた。

次に、性別・世代と役員経験の有無との関連をみると、こちらも性別に関しては有意な差が見られなかったが、世代には0.1%水準で有意な差がみられた。こちらも町内自治会加入率と同様に、上の世代になるほど役員経験者の割合が増加している。加入率、役員経験ともに性別には有意差がなく、これらは性別による差がないことが分かった。

表 2-1 性別・世代と町内自治会加入の有無の関連

		加入者	未加入者	p 値	
性別	男性 (n=812)	40.0%	60.0%	0.242	***: <0.001
	女性 (n=688)	37.1%	62.9%		
世代	30代 (n=260)	18.5%	81.5%	0.000 ***	
	40代 (n=325)	29.8%	70.2%		
	50代 (n=382)	37.4%	62.6%		
	60代 (n=254)	48.8%	51.2%		
	70代 (n=279)	60.2%	39.8%		

表 2-2 性別・世代と町内自治会役員経験の有無の関連

		経験者	未経験者	p 値	
性別	男性 (n=812)	19.5%	80.5%	0.948	***: <0.001
	女性 (n=688)	19.2%	80.8%		
世代	30代 (n=260)	4.2%	95.8%	0.000 ***	
	40代 (n=325)	11.1%	88.9%		
	50代 (n=382)	16.8%	83.2%		
	60代 (n=254)	28.3%	71.7%		
	70代 (n=279)	38.4%	61.6%		

(2) 町内自治会活動への参加に関する項目

町内自治会活動への参加度を測定するため、調査票では「あなたやあなたの同居家族は、町内自治会活動にどの程度参加していますか」という設問と町内自治会活動を活動内容別に分けた10項目を用意した。それぞれの活動への参加状況について尋ね、その回答を用いて町内自治会活動参加尺度を作成した。

- 1 清掃美化活動（ごみステーションの清掃など）
- 2 環境整備活動（公園清掃や花植えなど）
- 3 防災活動（防災訓練など）
- 4 防犯活動（夜間見回りなど）
- 5 交通安全指導（登下校の見守り、教室開催など）
- 6 地域福祉活動（高齢者の生活支援、見守りなど）
- 7 交流・親睦活動（お祭りや敬老会など）
- 8 スポーツ・健康増進活動（運動会・ラジオ体操など）
- 9 総会
- 10 広報活動（回覧板、身近な情報の提供など）

各項目について「よく参加している」、「たまに参加している」、「ほとんど参加していない」、「全く参加していない」、「活動がない」、「活動をしているか、わからない」の6件法で回答を得た。そして、「よく参加している」に3点、「たまに参加している」に2点、「ほとんど参加していない」に1点、「全く参加していない」に0点を与えた。なお、「活動がない」および「活動をしているか、わからない」の2項目については、町内自治会活動への参加度を測定する上で加えることが望ましくないと判断し、欠損値処理を行った。仮に個人が活動参加意欲を持っていたとしても、その地域で町内自治会が組織されておらず活動自体がなければ、参加できないためである。

「よく参加している」から「全く参加していない」までの4項目を合成変数とする為に算出した信頼性係数は0.894と0.7を上回り、前述の10項目を合成することに内的整合性があると判断できる。項目の総和を算出したところ、平均値10.20、最小値0、最大値30、標準偏差7.199、歪度0.347、尖度-0.524であった。そして、グループ規模が同程度になるよう得点が10以下を参加度低群、11以上を参加度高群に分けた。その結果、町内自治会参加度低群は152人(53.9%)、参加度高群は130人(46.1%)であった。

町内自治会参加度と性別・世代の関係を調べるため、クロス集計を行った。その結果が、表2-3である。

性別と町内自治会参加度(2群)のクロス集計を行ったところ、有意な差はみられなかった。

次に、世代と町内自治会参加度(2群)のクロス集計を行ったところ、0.1%水準で有意な差がみられた。上の世代であるほど高群である割合が高い。そして、30代から60代に関してはいずれも低群が半数を超える結果であるのに対し、70代のみ高群が7割に迫るという特徴的な結果となった。

表2-3 性別・世代と町内自治会活動参加度の関連

		低群	高群	p 値
性別	男性(n=174)	53.4%	46.6%	0.902
	女性(n=108)	54.6%	45.4%	
世代	30代(n=20)	75.0%	25.0%	0.000 ***
	40代(n=52)	65.4%	34.6%	
	50代(n=67)	67.2%	32.8%	
	60代(n=60)	55.0%	45.0%	
	70代(n=83)	30.1%	69.9%	

***:<0.001

(3) 町内自治会活動への評価に関する項目

町内自治会活動への評価の高低を測定するため、調査票では「あなたが今、住んでいる地域の町内自治会は、以下の活動に活発に取り組んでいると思いますか」という設問と町内自治会活動を活動内容別に分けた10項目を用意した。それぞれの活動について活発に取り組んでいるかを尋ね、町内自治会活動評価尺度を作成した。なお、この設問は町内自治会への加入、未加入は考慮していない。

- 1 清掃美化活動（ごみステーションの清掃など）
- 2 環境整備活動（公園清掃や花植えなど）
- 3 防災活動（防災訓練など）
- 4 防犯活動（夜間見回りなど）
- 5 交通安全指導（登下校の見守り、教室開催など）
- 6 地域福祉活動（高齢者の生活支援、見守りなど）
- 7 交流・親睦活動（お祭りや敬老会など）
- 8 スポーツ・健康増進活動（運動会・ラジオ体操など）
- 9 総会
- 10 広報活動（回覧板、身近な情報の提供など）

各項目について、「とてもそう思う」、「そう思う」、「そう思わない」、「全くそう思わない」の4件法で回答を得て、「とてもそう思う」に3点、「そう思う」に2点、「そう思わない」に1点、「全くそう思わない」に0点を与えた。

これらの項目を合成変数とするために算出した信頼性係数は0.943と0.7を上回り、前述の10項目を合成することに内的整合性があると判断できる。項目の総和を算出したところ、平均値14.19、最小値0、最大値30、標準偏差、7.007、歪度-0.238、尖度-0.104であった。

グループ規模が同程度になるよう得点が15以下を評価度低群、16以上を高群とみなした。その結果、町内自治会活動に対する低評価群は832人（55.5%）、高評価群は668人（44.5%）であった。

町内自治会活動に対する評価と性別・世代の関係を調べるため、クロス集計を行った。その結果が、表2-4である。

性別と町内自治会活動への評価の高低（2群）のクロス集計を行ったところ、有意な差はみられなかった。

次に、世代と町内自治会活動へ評価の高低（2群）のクロス集計を行ったところ、1%水準で有意な差がみられた。30代から60代には低群、高群の割合に大きな差はみられないが、70代は唯一、高群の割合が大きい。そして、上の世代であるほど高群の割合が高い。

表2-4 性別・世代と町内自治会活動評価度の関連

		低群	高群	p 値
性別	男性(n=812)	56.0%	44.0%	0.639
	女性(n=688)	54.8%	45.2%	
世代	30代(n=260)	62.3%	37.7%	0.001 **
	40代(n=325)	58.8%	41.2%	
	50代(n=382)	55.8%	44.2%	
	60代(n=254)	55.1%	44.9%	
	70代(n=279)	45.2%	54.8%	

**:<0.01

(4) 地域愛着に関する項目

地域愛着の高低を測定するため、調査票では「あなたは今、住んでいる地域についてどのように感じていますか」という設問と下記の 10 項目を用意した。10 項目についてそれぞれ尋ね、地域愛着尺度を作成した。

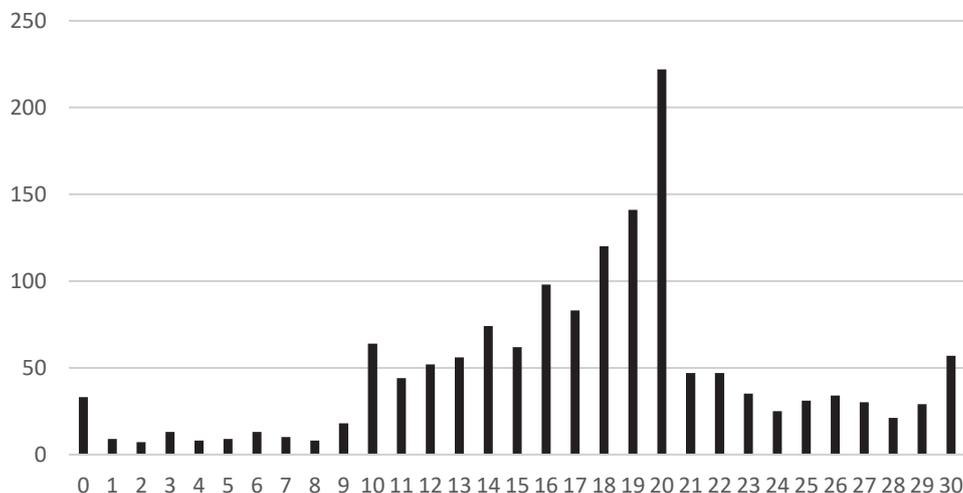
- 1 このまちはリラックスできる。
- 2 雰囲気や土地柄が気に入っている。
- 3 このまちを歩くのは気持ちよい。
- 4 お気に入りの場所がある。
- 5 自分のまちという感じがする。
- 6 このまちが好きだ。
- 7 まちに思い出がある。
- 8 まちに自分の居場所がある。
- 9 このまちは住みやすい。
- 10 このまちにずっと住みたい。

各項目について、「あてはまる」、「どちらかといえばあてはまる」、「どちらかといえばあてはまらない」、「あてはまらない」の 4 件法で回答を得て、「あてはまる」に 3 点、「どちらかといえばあてはまる」に 2 点、「どちらかといえばあてはまらない」に 1 点、「あてはまらない」に 0 点を与えた。

これらの項目を合成変数とするために算出した信頼性係数は 0.943 と 0.7 を上回り、前述の 10 項目を合成することに内的整合性があると判断できる。項目の総和を算出したところ、平均値 17.50、最小値 0、最大値 30、標準偏差、6.417、歪度-0.415、尖度 0.504 であった。得点が高いほど地域愛着が高いことを意味する。

図 2-1 は、地域愛着度の分布を示している。

図 2-1 地域愛着度



地域愛着と性別・世代の関係を調べるため、クロス集計を行った。その結果が表 2-5 である。なお、クロス集計を行うためにグループ規模が同程度になるよう得点が 10 以下を愛着度低群、11 以上を愛着度高群に分けた。その結果、愛着度低群は 480 人 (32.0%)、愛着度高群は 1020 人 (68.0%) であった。

性別と地域愛着のクロス集計を行ったところ、有意な差はみられなかった。

次に、世代と地域愛着についてクロス集計を行ったところ、5%水準で有意な差がみられた。どの世代も総じて地域愛着は高いといえるが、中でも高群の割合が突出して大きいのが 70 代である。

表 2-5 性別・世代と地域愛着の関連

		低群	高群	p 値
性別	男性 (n=812)	30.0%	70.0%	0.085
	女性 (n=688)	34.3%	65.7%	
世代	30代 (n=260)	34.6%	65.4%	0.013 *
	40代 (n=325)	30.5%	69.5%	
	50代 (n=382)	36.1%	63.9%	
	60代 (n=254)	33.9%	66.1%	
	70代 (n=279)	24.0%	76.0%	

*:<0.05

3. 分析

前項で説明した手続きを経て作成した諸変数を用いて、4つの仮説を検証する。

仮説①「町内自治会に加入している人はしていない人よりも、地域愛着が高い」の検証

表 2-6 町内自治会加入と地域愛着の関連

	度数 (n)	平均値	標準偏差	t 値	自由度	有意確率 (両側)
加入者	580	18.4	6.074	-4.425	1301.115	<0.001
未加入者	920	16.9	6.564			

仮説①の検証のため、町内自治会加入の有無と地域愛着尺度を用いて平均値の差の検定 (t 検定) を行った。その結果、有意確率は 0.001 未満であった。したがって、2群間には有意な差が認められる。町内自治会加入者は未加入者よりも地域愛着が高いことが明らかになった。

仮説②「町内自治会の役員を経験している人はそうでない人よりも、地域愛着が高い」の検証

表 2-7 町内自治会の役員経験と地域愛着の関連

	度数 (n)	平均値	標準偏差	t 値	自由度	有意確率 (両側)
役員経験あり	290	18.9	5.762	-4.515	482.762	<0.001
役員経験なし	1210	17.2	6.521			

仮説②の検証のため、町内自治会の役員経験の有無と地域愛着尺度を用いて平均値の差の検定 (t 検定) を行った結果、有意確率は 0.001 未満であった。したがって、2 群間には有意差が認められる。

町内自治会の役員経験者は役員未経験者よりも地域愛着が高いことが明らかになった。

仮説③「町内自治会活動への参加度が高い人は低い人よりも、地域愛着が高い」の検証

表 2-8 町内自治会活動への参加度と地域愛着の関連

	度数 (n)	平均値	標準偏差	t 値	自由度	有意確率 (両側)
参加尺度高群 (11 以上)	130	20.5	5.286	-3.91	280	<0.001
参加尺度低群 (10 以下)	152	17.9	5.823			

仮説③の検証のため、町内自治会の参加尺度と地域愛着尺度を用いて平均値の差の検定 (t 検定) を行った結果、有意確率は 0.001 未満であった。したがって、2 群間には有意差が認められる。

町内自治会活動に参加度が高い人は低い人よりも地域愛着が高いことが明らかになった。

仮説④「町内自治会への評価が高い人は低い人よりも、地域愛着が高い」の検証

表 2-9 町内自治会活動への評価度と地域愛着の関連

	度数 (n)	平均値	標準偏差	t 値	自由度	有意確率 (両側)
評価尺度高群 (16 以上)	668	19.6	5.7	-11.925	1485.319	<0.001
評価尺度低群 (15 以下)	832	15.8	6.245			

仮説④の検証のため、町内自治会の評価尺度と地域愛着尺度を用いて平均値の差の検定 (t 検定) を行った結果、有意確率は 0.001 未満であった。したがって、2 群間には有意差が認められる。町内自治会への評価が高い人は低い人よりも、地域愛着が高いことが明らかになった。

上記の分析結果から、仮説①、②、③、④はすべて立証された。ただし、既述のとおり、町内自治会への加入割合、役員経験の有無、活動参加度、町内自治会への評価度には年齢差が確認されている。そこで最後に、こうした年齢の影響を統制しても、町内自治会への加入や役員経験、活動への参加は地域愛着度と関連しているのかを検討したい。

表 2-10 町内自治会活動への参加と地域愛着度の関連（重回帰分析）

		β	p値	β	p値	β	p値
性別	(1 = 男性)	0.041	0.074	0.044	0.090	0.037	0.151
年齢		0.001	0.756	-0.003	0.910	-0.006	0.826
居住年数	(1 = 20年以上)	0.072	0.013 *	0.081	0.004 **	0.072	0.010 *
加入有無	(1 = 加入)	0.085	0.002 **				
役員経験	(1 = あり)			0.088	0.001 **		
活動参加度						0.142	0.000 ***
n		1,500		1,500		1,500	
p値		0.000		0.000		0.000	
R-square		0.018		0.020		0.032	
Adjusted R-square		0.016		0.017		0.029	

表 2-10 は地域愛着度を従属変数に、性別、年齢、居住年数、町内自治会の加入有無、役員経験、活動参加度を独立変数にした重回帰分析（強制投入法）を行った結果である。なお、町内自治会加入有無と役員経験、活動参加は、相関関係（加入していなければ役員にはならず、活動もしない）にあるため、それぞれ分けて分析することとした。

分析の結果、年齢を統制しても、居住年数が 20 年以上の者はそうではない者よりも有意に地域愛着度が高いという結果が得られた。そして、性別、年齢、居住年数を統制しても、町内自治会加入者は未加入者よりも地域愛着度が高く、性別、年齢、居住年数を統制しても、町内自治会役員経験者は未経験者よりも地域愛着度が高く、性別、年齢、居住年数を統制しても、町内自治会活動参加度が高いほど地域愛着度が高いことが明らかになった。

4. 考察、まとめ

仮説①の検証では、町内自治会に加入している人の方がしていない人よりも地域愛着が高いことが示された。次に、仮説②の検証では、町内自治会にて役員経験の有る人の方が、無い人よりも地域愛着が高いことも明らかになった。さらに、仮説③の検証では、町内自治会の活動参加度が高い人は、低い人よりも地域愛着が高いことが示された。この結果から、実際に地域運営に関わることとその頻度、また、役員に従事するような特に深く運営に携わることなどが、より地域愛着を高める可能性を示唆していると考えられる。

そして、仮説④の検証では、町内自治会加入の有無を問わず、その活動に対する評価が高い人はそうでない人よりも地域愛着が高いという結果が得られた。精力的、活発的に町内自治会活動が行われているという事実が、自分の地域は他の地域より優位であるという感覚を生み、地域愛着を高めるのではないかと考察する。

以上の知見は、しかしながら、年齢による影響を除去することができていない。本章前半で述べたように、町内自治会への加入割合や役員経験、活動参加の程度には世代差があり、地域愛着度にも世代差があるためである。そこで、最後に地域愛着度を従属変数にした重回帰分析を行い、年齢を統制しても、町内自治会加入者は未加入者よりも地域愛着度が高い等の知見を得た。

本章での分析から、町内自治会へのコミットメントと地域愛着の関連は認められた。今回、地域愛着の変動要因として挙げた町内自治会への参加や役員経験、活動への参加、その活動に対する評価はいずれも積極的な行動をとっている人ほど地域愛着が高い傾向にある。しかし、仮説①の分析にもあるように、町内自治会に加入している人の割合はそう多くない。そのため、加入者を増加させることによってさらに当該地域への愛着を高め、活性化に繋げることができることも推測される。

一極集中や地方都市の衰退が問題となっている昨今、地域愛着を高める町内自治会への参加や活動を促進することが地方活性化のカギとなるのではないだろうか。

最後に、今回の分析結果から地方自治体の活性化について僅かながら寄与できたものと思われる。町内自治会未加入者が加入しない要因や、如何にして加入を促すかの検討については今後の課題とする。

第3章 町内自治会活動や地域活動への参加度と集合的効力感の分析

平賀 美那

1. 問題意識と仮説

本章では、第一に、町内自治会活動や地域活動に参加している人は集合的効力感が高いのか、これらの諸変数の関連を分析した結果を報告する。なお、集合的効力感とは、アメリカの Robert J. Sampson が導入した概念であり、木田勇輔らによれば「共通善のために関わりを持つという意志に結びついている、隣人間の社会的凝集性」（木田・成・河村 2018：134）と定義される。そして、「集合的効力感が高い住民はコミュニティの制御に高い期待を持っているため、コミュニティにかかわる行動を起こすことに積極的である。集合的効力感の高いコミュニティではコミュニティの社会環境が整備され、住民の生活の質や幸福度が向上し、さらに住民の集合的効力感が高まるといふ循環が起こりやすくなる。ところが、集合的効力感が低い住民はコミュニティの制御に悲観的であるため、何らかの行動を起こすことに消極的になりがちである」（木田・成・河村 2018：134）という。

本章では、第二に、町内自治会活動への参加と地域活動への参加のうち、どちらがより集合的効力感を規定するのかを分析した。具体的には、以下の3つの仮説を検証する。

仮説① 町内自治会活動に参加している人は参加していない人よりも、集合的効力感が高い。

仮説② 地域活動に参加している人は参加していない人よりも、集合的効力感が高い。

仮説③ 集合的効力感を規定する要因は、地域活動ではなく、町内自治会活動である。

2. 分析1—町内自治会活動参加度と集合的効力感の関連について

はじめに、仮説①「町内自治会活動に参加している人は参加していない人よりも、集合的効力感が高い」を検証する。町内自治会活動の参加度を独立変数、集合的効力感を従属変数とする。

（1）町内自治会活動の参加度の尺度化

町内自治会活動の参加度を明らかにするために、本調査では、以下の質問文と10項目を用意した。

質問文：あなたやあなたの同居家族は、町内自治会活動にどの程度参加していますか。

1. 清掃美化活動（ゴミステーションの清掃など）
2. 環境整備活動（公園清掃や花植えなど）
3. 防災活動（防災訓練など）
4. 防犯活動（夜間見回りなど）
5. 交通安全指導（登下校の見守り、教室開催など）
6. 地域福祉活動（高齢者の生活支援、見守りなど）
7. 交流・親睦活動（お祭りや敬老会など）
8. スポーツ・健康増進活動（運動会・ラジオ体操など）
9. 総会
10. 広報活動（回覧板、身近な情報の提供など）

回答は、「よく参加している」「たまに参加している」「ほとんど参加していない」「全く参加していない」「活動がない」「活動をしているか、わからない」の6つである。このうち、「活動がない」「活動をしているか、わからない」の2つを除外し、「よく参加している」に3点、「たまに参加している」に2点、「ほとんど参加していない」に1点、「全く参加していない」に0点を与え、合成尺度を作成した。信頼性係数は0.894、平均値10.20、最小値0、最大値30、標準偏差7.199、歪度0.347、尖度-0.524である。

なお、本分析にあたっては、得点の分布を確認の上、町内自治会活動の参加度を高群と低群に分けた。具体的には10点以下(152人)を町内自治会活動の参加度低群、11点以上(130人)を町内自治会活動の参加度高群とみなした。

(2) 集合的効力感の尺度化

集合的効力感を明らかにするために、本調査では、以下の質問文と7項目を用意した。

質問文:あなたは、以下の項目についてどう思いますか。

1. この地域の住民は、考え方や暮らしぶりが似ている
2. この地域の住民は、みなお互い顔見知りだ
3. この地域の住民は、お互いに良い関係を保っている
4. この地域で問題が起きても、住民で解決できる
5. 災害が起きた時には、近所の人とは団結して行動するだろう
6. 犯罪を見かけたら、近所の人には警察に通報するだろう
7. 困っている子供を見かけたら、近所の人はその子を助けるだろう

回答は、「とてもそう思う」「そう思う」「どちらでもない」「あまりそう思わない」「全くそう思わない」の5つで得た。「とてもそう思う」に4点、「そう思う」に3点、「どちらでもない」に2点、「あまりそう思わない」に1点、「全くそう思わない」に0点を与え、合成尺度を作成した。信頼性係数は0.895、平均値14.95、最小値0、最大値28、標準偏差4.86、歪度-0.497、尖度1.007である。

なお、本分析にあたっては、得点の分布を確認の上、集合的効力感を低群と中群と高群に分けた。具体的には14点以下(87人)を集合的効力感低群、15点以上17点以下(79人)を集合的効力感中群、18点以上(116人)を集合的効力感高群とみなした。

(3) 仮説1の分析

上記の「町内自治会活動参加度」と「集合的効力感」を用いてクロス集計と χ^2 検定を行ったところ、漸近有意確率は0.001を示していた。町内自治会参加度と集合的効力感の間には1%水準で有意な差があるといえる。分析の結果、町内自治会参加度が高い人は低い人よりも集合的効力感が高いことが分かる。

表 3-1 町内自治会活動参加度と集合的効力感の関連

	低群	中群	高群	p 値	
町内自治会活動低群 (n=152)	37.5%	30.9%	31.6%	0.001	**
町内自治会活動高群 (n=130)	23.1%	24.6%	52.3%		

**:<0.01

3. 仮説 2——地域活動参加度と集合的効力感の関連について

次に、「仮説② 地域活動に参加している人は参加していない人よりも、集合的効力感が高い」を検証する。地域活動の参加度を独立変数、集合的効力感を従属変数とする。

(1) 地域活動参加度の尺度化

地域活動の参加度について尋ねるために、本調査では、以下の質問文と 10 項目を用意した。

質問文:あなたは今、住んでいる地域で以下の地域活動に参加していますか。

1. 健康や医療サービスに関係した活動 (ラジオ体操 等)
2. 高齢者を対象にした活動 (地域での見守り 等)
3. 障がい者を対象とした活動 (生活支援ボランティア 等)
4. 子どもを対象とした活動 (子ども食堂 等)
5. スポーツ・文化・芸術・学術に関係した活動 (運動会 等)
6. まちづくりのための活動 (お祭り 等)
7. 安全な生活のための活動 (防犯パトロール 等)
8. 自然や環境を守るための活動 (公園清掃 等)
9. 災害に関係した活動 (避難訓練 等)
10. 異文化交流・国際協力に関係した活動 (交流イベントへの参加 等)

回答は、「よく参加している」「たまに参加している」「ほとんど参加していない」「全く参加していない」の 4 つで得た。「よく参加している」に 3 点、「たまに参加している」に 2 点、「ほとんど参加していない」に 1 点、「全く参加していない」に 0 点を付与し、合成尺度を作成した。信頼性係数は 0.948、平均値 4.89、最小値 0、最大値 30、標準偏差 6.16、歪度 1.160、尖度 0.678 である。

なお、本分析にあたっては、得点の分布を確認の上、地域活動参加度を低群と高群に分けた。具体的には 2 点以下 (829 人) を地域活動参加度低群、3 点以上 (671 人) を地域活動参加度高群とみなした。

(2) 集合的効力感の尺度化

集合的効力感の尺度化は、仮説 1 で作成した合成尺度を用いる。

(3) 仮説2の分析

上記の「地域活動参加度」と「集合的効力感」を用いてクロス集計と χ^2 二乗検定を行ったところ、漸近有意確率は0.001を示していた。

上記の「地域活動参加度」と「集合的効力感」を用いてクロス集計と χ^2 二乗検定を行ったところ、漸近有意確率は0.000を示していた。地域活動参加度と集合的効力感の間には0.1%水準で有意な差があるといえる。分析の結果、地域活動参加度が高い人は低い人よりも集合的効力感が高いことが分かる。

表3-2 地域活動参加度と集合的効力感の関連

	低群	中群	高群	p 値	
地域活動低群 (n=829)	59.1%	22.9%	18.0%	0.000	***
地域活動高群 (n=671)	31.6%	25.9%	42.5%		

***:<0.001

4. 仮説3—町内自治会活動と地域活動のどちらが集合的効力感を規定するか

最後に、「仮説③ 集合的効力感を規定する要因は、地域活動ではなく、町内会・自治会活動である」を検証する。「町内会自治会活動参加度」と「地域活動参加度」を独立変数、集合的効力感を従属変数とする。

(1) 町内自治会活動参加度と地域活動参加度の尺度化

町内自治会活動参加度の尺度化は、仮説1で作成した合成尺度を用いる。地域活動参加度の尺度化は、仮説2で作成した合成尺度を用いる。

(2) 集合的効力感の尺度化

集合的効力感の尺度化は、仮説1および仮説2で作成した合成尺度を用いる。

(3) 仮説3の分析

上記の「町内自治会活動参加度」と「地域活動参加度」の高低を組み合わせ、4つのグループを作成した。すなわち、町内自治会活動にも地域活動にも参加している「町内会活動高群&地域活動高群」、町内自治会活動には参加しているが地域活動に参加していない「町内会活動高群&地域活動低群」、町内自治会活動には参加していないが地域活動には参加している「町内自治会活動低群&地域活動高群」、町内自治会活動にも地域活動にも参加していない「町内自治会活動低群&地域活動低群」である。

町内自治会活動と地域活動の参加状況を示す上記変数と「集合的効力感」を用いてクロス集計と χ^2 二乗検定を行ったところ、漸近有意確率は0.006を示していた。1%水準で有意な差があるといえる。

表 3-3 町内自治会活動と地域活動の参加度（4群）と集合的効力感の関連

	低群	中群	高群	p 値
町内会活動高群&地域活動高群 (n=116)	20.7%	25.0%	54.3%	0.006 **
町内会活動高群&地域活動低群 (n=14)	42.9%	21.4%	35.7%	
町内会活動低群&地域活動高群 (n=69)	31.9%	33.3%	34.8%	
町内会活動低群&地域活動低群 (n=83)	42.2%	28.9%	28.9%	

**:<0.01

分析の結果、町内自治会活動にも地域活動にも参加している者は集合的効力感が高く、町内自治会活動にも地域活動にも参加していない者は集合的効力感が低いことが明らかになった。次に「町内会活動高群&地域活動低群」と「町内会活動低群&地域活動高群」を比較してみると、前者のほうが後者よりも集合的効力感低群の割合が高いことが確認される。ただし、そもそも町内自治会活動はしているが地域活動はしていない人（町内会活動高群&地域活動低群）はわずか14名であり、統計的な有意性を検証するにはサンプルサイズが不十分であった。

5. まとめ

本稿では、上記の3つの仮説を検証した。

仮説① 町内自治会活動に参加している人は参加していない人よりも、集合的効力感が高い。

仮説② 地域活動に参加している人は参加していない人よりも、集合的効力感が高い。

仮説③ 集合的効力感を規定する要因は、地域活動ではなく、町内自治会活動である。

仮説①を検証した結果、町内自治会活動参加度と集合的効力感には、有意な関連があることが明らかになった。町内自治会活動に参加している人は、参加していない人よりも集合的効力感が高かった。仮説①は立証されたといえる。

仮説②を検証した結果、地域活動参加度と集合的効力感には、有意な関連があることが明らかになった。地域活動に参加している人は、参加していない人よりも集合的効力感が高かった。仮説②も立証されたといえる。

仮説③については、統計的検定を行うには観測数が不足していた。ただし、「町内会活動高群&地域活動低群」と「町内会活動低群&地域活動高群」を比較してみると、前者のほうが後者よりも集合的効力感低群の割合がいくぶん高いことが確認され、その点では、仮説とは異なる傾向を見て取ることができた。

今回、仮説③については明確な結論を提示できなかった。しかし、町内自治会活動にも地域活動にも参加している者は集合的効力感が高く、町内自治会活動にも地域活動にも参加していない者は集合的効力感が低いという知見を得ることができた。町内自治会活動や地域活動の参加状況を質問紙で捉えることは非常に難しいが、質問項目を精査し、より大きいサンプルサイズの調査研究が期待される。

引用文献：

木田勇輔・成元哲・河村則行 2018「集合的効力感が生み出す活動的な市民:名古屋市調査の定量的研究」『東海社会学会年報』10, pp. 133-143.

第4章 一般的信頼と近隣住民に対する信頼及び地域活動参加の関連

坂ノ上 玲也

本章では、一般的信頼・近隣住民に対する信頼と、地域活動への参加との関連について分析する。山岸俊男（1998）によれば、一般的信頼とは他者一般の信頼性についての期待であり、相手についての情報がない場合の相手の信頼性に対する“デフォルト推定値”のことである。一方、近隣住民に対する信頼とは、文字どおり、調査対象者の近隣に住む者に対する信頼性を指す。見知らぬ相手であれ、近隣住民であれ、他者に対する信頼性の程度が高いほうが、他者と協働するさいの心理的コストを軽減する可能性が考えられる。そこで本章では、一般的信頼と近隣住民に対する信頼は地域活動への参加に関連しているのか、また、どちらが地域活動への参加に影響を与えるのかを明らかにするために、下記3つの仮説を検証する。

仮説1．一般的信頼が高い人は低い人よりも、地域活動に参加している。

仮説2．近隣住民に対する信頼が高い人は低い人よりも、地域活動に参加している。

仮説3．地域活動への参加を規定する要因は、一般的信頼ではなく、近隣住民に対する信頼である。

1. 仮説1の検証

仮説1「一般的信頼が高い人は低い人よりも、地域活動に参加している。」の検証をするにあたって、「一般的信頼」と「地域活動参加度」の2つの変数を使用した。独立変数は「一般的信頼」で、従属変数は「地域活動参加度」である。

(1) 一般的信頼の尺度化

一般的信頼について、山岸による一般的信頼尺度を用いて、以下の6項目を尋ねた。

1. ほとんどの人は信頼できる
2. たいていの人は、人から信頼された場合、同じように信頼する
3. ほとんどの人は他人を信頼している
4. ほとんどの人は基本的に正直である
5. 私は人を信頼する方である
6. ほとんどの人は基本的に善良で親切である

回答の選択肢は「そう思う」「ややそう思う」「あまりそう思わない」「そう思わない」の4件法で尋ね、「そう思う」に3点、「ややそう思う」に2点、「あまりそう思わない」に1点、「そう思わない」に0点を与えた。

上記6項目を合成するにあたって信頼性係数を算出したところ、 $\alpha = 0.926$ で一定の内的整合性が確認された。よって、6項目の総和を算出する。理論値では最小値0、最大値18で、高得点であるほど一般的信頼が高いこととなる。尺度の記述統計は次のとおりである。最大値18、最小値0、平均値9.02、標準偏差3.87、歪度-0.30、尖度0.10。

なお、本分析では一般的信頼尺度の得点分布を確認の上、9点以下を低群、10点以上を高群とした。

(2) 地域活動参加度の尺度化

地域活動参加度を測定するため、以下の1～10の活動に参加しているか尋ねた。

1. 健康や医療サービスに関係した活動（ラジオ体操 等）
2. 高齢者を対象とした活動（地域での見守り 等）
3. 障がい者を対象とした活動（生活支援ボランティア 等）
4. 子どもを対象とした活動（子ども食堂 等）
5. スポーツ・文化・芸術・学術に関係した活動（運動会 等）
6. まちづくりのための活動（お祭り 等）
7. 安全な生活のための活動（防犯パトロール 等）
8. 自然や環境を守るための活動（公園清掃 等）
9. 災害に関係した活動（避難訓練 等）
10. 異文化交流・国際協力に関係した活動（交流イベントへの参加 等）

回答の選択肢は「よく参加している」「たまに参加している」「ほとんど参加していない」「全く参加していない」の4件法で尋ね、「よく参加している」は3点、「たまに参加している」は2点、「ほとんど参加していない」は1点、「まったく参加していない」0点を与えた。

上記10項目を合成するにあたって信頼性係数を算出したところ、 $\alpha = 0.948$ で一定の内的整合性が確認された。よって、10項目の総和を算出する。理論値では最小値0、最大値30で、高得点であるほど地域活動に参加していることとなる。尺度の記述統計は次のとおりである。最大値30、最小値0、平均値4.89、標準偏差6.16、歪度1.160、尖度0.678。

なお、本分析では地域活動参加度の得点分布を確認の上、0点を低頻度群、1～7点を中頻度群、8点以上を高頻度群とした。

(3) 分析

一般的信頼と地域活動参加度について、クロス集計及びカイ二乗検定を行った。結果を表4-1に示す。

表4-1 一般的信頼と地域活動参加度のクロス集計

	参加高頻度群	参加中頻度群	参加低頻度群	χ^2 値	p 値
一般的信頼高群 (n=755)	57.7%	19.6%	22.6%	104.384	0.000
一般的信頼低群 (n=745)	32.2%	25.6%	42.1%		
全体 (n=1500)	45.1%	22.6%	32.3%		

分析の結果、0.1%水準で有意な結果が見られた。「一般的信頼高群」の場合、「参加高頻度群」が6割近くを占めており、地域活動によく参加していることがわかる。対して「一般的信頼低群」の場合、「参加頻度高群」は3割程度にとどまり、活動の参加頻度が低い傾向にある。

2. 仮説2の検証

仮説2「近隣住民に対する信頼が高い人は低い人よりも、地域活動に参加している。」の検証をするにあたって、「住民信頼」と「地域活動参加度」の2つの変数を使用した。独立変数は「住民信頼」で、従属変数は「地域活動参加度」である。なお、地域活動参加度については、仮説1で用いた変数をそのまま使用する。

(1) 住民信頼の尺度化

住民信頼について、一般的信頼での質問項目を参考に、以下の6項目を尋ねた。

1. 地域の人には信頼できる
2. 地域の人には、人から信頼された場合、同じように信頼する
3. 地域の人には他人を信頼している
4. 地域の人には基本的に正直である
5. 私は地域の人を信頼する方である
6. 地域の人には基本的に善良で親切である

回答の選択肢は「そう思う」「ややそう思う」「あまりそう思わない」「そう思わない」の4件法で尋ね、「そう思う」は3点、「ややそう思う」に2点、「あまりそう思わない」に1点、「そう思わない」に0点を与えた。

上記6項目を合成するにあたって、信頼性係数を算出したところ、 $\alpha = 0.959$ で一定の内的整合性が確認された。よって、6項目の総和を算出する。理論値では最小値0、最大値18で、高得点であるほど住民への信頼が高いこととなる。尺度の記述統計は次のとおりである。最大値18、最小値0、平均値9.46、標準偏差4.08、歪度-0.43、尖度0.15。

なお、本分析では住民信頼尺度の得点分布を確認の上、11点以下を低群、12点以上を高群とした。

(2) 分析

住民信頼と地域活動参加度について、クロス集計及びカイ二乗検定を行った。結果を表4-2に示す。

分析の結果、0.1%水準で有意な結果が見られた。「住民信頼高群」は、地域活動への「参加高頻度群」が半数程度を占めており、地域活動に参加する人が多いことがわかる。対して「住民信頼低群」では、「参加高頻度群」は約3割に過ぎず、地域活動への参加頻度が低い傾向にあることがわかる。

表 4-2 住民信頼と地域活動参加度のクロス集計

	参加高頻度群	参加中頻度群	参加低頻度群	χ^2 値	p 値
住民信頼高群 (n=833)	55.2%	20.6%	24.1%	85.019	0.000
住民信頼低群 (n=667)	32.4%	25.0%	42.6%		
全体 (n=1500)	45.1%	22.6%	32.3%		

3. 仮説3の検証

仮説3「地域活動への参加を規定する要因は、一般的信頼ではなく、近隣住民に対する信頼である。」を検証するにあたって、「一般的信頼」、「住民信頼」、「地域活動参加度」の3つの変数を用いた。独立変数は「一般的信頼」、「住民信頼」で、従属変数は「地域活動参加度」である。

「一般的信頼」、「住民信頼」、「地域活動参加度」は仮説1・2の検証で用いた変数をそのまま使用する。

(1) 分析

上記の独立変数に、基本属性である「年齢」と「性別」を加え、重回帰分析を行った。結果は表4-3に示す。

表 4-3 地域活動参加度を従属変数とした重回帰分析

	B	標準化係数	p 値
性別 (男=0、女=1)	-1.24	-0.10	0.000
年齢	0.05	0.10	0.000
一般的信頼	0.29	0.18	0.000
住民信頼	0.21	0.14	0.002
定数	-1.69		0.014

n=1500
p<0.001
adj. R²=0.132

分析の結果、「性別」「年齢」「一般的信頼」では0.1%水準、「住民信頼」は1%水準で有意な結果がみられた。この結果から、一般的信頼、住民信頼共に地域活動の参加度を規定しているといえる。また、女性より男性の方が、地域活動に参加していることがわかる。

しかし、職業生活が中心である若年層と職業生活からリタイアした高齢層では、生活スタイルや価値観に違いがあることが想定される。そこで、年代別で同様の重回帰分析を行った。なお、以下の分析は年代別の分析のため、独立変数から「年齢」は除外している。

(2) 年代ごとの分析

年代は、30代、40～60代、70代に分けた。30代は、独身者が多数含まれており、職業生活が中心のため地域とのかかわりが弱いと予想される。40～60代は、働いている現役世代であり、職業生活と地域住民という別の側面を持った生活を営んでいるであろう。70代は、職業生活からリタイアした人が多くなり、地域社会とのかかわりが前面に出てくる世代である。以上の理由から、30代、40～60代、70代に分けることは妥当であると判断した。

まず、30代に限定し、重回帰分析を行った。結果は、表4-4に示す。

表 4-4 30代における地域活動参加度を従属変数とした重回帰分析

	B	標準化係数	p 値
性別 (男=0、女=1)	-1.95	-0.15	0.008
一般的信頼	0.36	0.23	0.030
住民信頼	0.25	0.16	0.118
定数	0.2		0.982
n=260			
p<0.001			
adj. R ² =0.144			

分析の結果、「性別」は1%水準、「一般的信頼」は5%水準で有意な結果がみられた。30代では、住民信頼の効果は有意ではなく、一般的信頼が地域活動の参加度を規定することがわかる。次に、40～60代に限定し、重回帰分析を行った。結果は、表4-5に示す。

表 4-5 40～60代における地域活動参加度を従属変数とした重回帰分析

	B	標準化係数	p 値
性別 (男=0、女=1)	-1.17	-0.10	0.002
一般的信頼	0.23	0.15	0.012
住民信頼	0.19	0.13	0.031
定数	1.14		0.027
n=961			
p<0.001			
adj. R ² =0.077			

分析の結果、「性別」で1%水準、「一般的信頼」、「住民信頼」共に5%水準で有意な結果がみられた。40～60代では、「一般的信頼」、「住民信頼」共に地域活動の参加を規定することがわかるが、「一般的信頼」の方がより強い効果を持っているといえる。最後に、70代に限定し、重回帰分析を行った。結果は、表4-6に示す。

表 4-6 70代における地域活動参加度を従属変数とした重回帰分析

	B	標準化係数	p 値
性別 (男=0、女=1)	-0.37	-0.30	0.592
一般的信頼	0.36	0.21	0.052
住民信頼	0.33	0.20	0.062
定数	0.11		0.921
n=279			
p<0.001			
adj. R ² =0.147			

分析の結果、どの変数も有意ではなかった。70代は、「一般的信頼」、「住民信頼」共に、地域活動の参加度に効果を持たないことがわかる。

4. 結論

仮説1の検証では、一般的信頼が高いほど地域活動に参加するという結果が得られた。仮説は立証されたといえる。

仮説2の検証では、住民信頼が高いほど地域活動に参加するという結果が得られた。仮説は立証されたといえる。

仮説3の検証では、全体で見ると、一般的信頼、住民信頼共に有意であった。しかし、年代ごとに分けて分析してみると、30代は一般的信頼、40～60代では一般的信頼と住民信頼が地域活動への参加度を規定する要因となっていた。一方、70代では一般的信頼も住民信頼もどちらも有意な効果を持っていなかった。今回、「地域活動への参加を規定する要因は、一般的信頼ではなく、近隣住民に対する信頼である」という仮説を立てたが、これまでの分析すべての結果を踏まえると、地域活動への参加度は、一般的信頼と住民信頼によって規定されてはいるものの、そのいずれがより強い効果を持っているかといえ、一般的信頼だといえる。よって、仮説3は立証されなかった。

他人に対する信頼があれば活動に参加しやすくなるのは、想像に易いだろう。実際、仮説1・2の結果からも、信頼度が高ければ地域活動に参加する傾向があることが明らかになった。

仮説3の検証を通して、予想に反して、地域活動の参加の程度は、住民信頼よりも一般的信頼によって強く規定されていることが分かった。この結果の背景にあるのは、地域コミュニティの変化にあると考える。現代社会では、生まれた地域と生活する地域が違う人も少なくない。これにより、地縁を重視できなくなったため、それに係る住民への信頼が必要なくなったからではないかと考える。地縁が重要視されていたと考えられる70代において、住民信頼が有意でないことからそういえるだろう。

本分析を総括すると、地域活動の参加には一般的信頼、住民信頼共に関わっていることが分かった。地域活動を活発に行うには、信頼を築けるような交流活動から始めていくべきだと考える。

引用文献：山岸俊男 1998『信頼の構造—こころと社会の進化ゲーム』東京大学出版会。

あとがき

本科目「社会調査実習」は、一般社団法人社会調査協会によって認定される社会調査士資格を取得するための必須科目であり、社会調査協会の定めによれば、本科目（＝社会調査協会が指定する「社会調査の実習を中心とする科目」）には年間30回の授業が必要である。

「社会調査実習」は、コミュニティ政策学部のカリキュラムにおいて、前学期中に週2コマ、計30回という形で行われる。この30回の授業の中で、調査の企画、実査、基礎的な集計と考察は無事に終了したが、本報告書の作成については、後学期に入ってから各受講生が個別に取り組んだ。この過程では、実習を通じて得た知識を整理し、調査結果を論理的にまとめる能力が試されることとなった。

はしがきにも記載したように、調査設計の段階で、千葉市市民局市民自治推進部市民自治推進課から「町内自治会」に関する講義をいただいた。町内自治会に関する知識や経験、理解は、受講生一人一人が住んでいる地域や居住形態によって大きく異なり、調査を進めるにあたって共通の理解を持つことが重要であると認識したためである。学生の経験上の差異は、調査票作成の段階でも試行錯誤を生む要因となった。町内自治会の多様な活動内容や参加の程度をどのように量的調査で捉えるかについて、3名の受講生は議論を重ねながら作業を進めてきた。

この実習を通じて、学生一人ひとりが地域社会を主体的に捉える視点を育むことができたとすれば、非常に嬉しいことである。

最後になったが、貴重な時間を割いて調査にご協力いただいた方々をはじめ、調査にご協力いただいた全ての皆さまに心より感謝申し上げます。

令和7年3月

青柳 涼子

山本 功

基礎集計表

SC1 あなたの性別をお知らせください。(SA)

		回答数	%
全体		1500	100.0
1	男性	812	54.1
2	女性	688	45.9

SC2_1 あなたの年齢をお知らせください。/歳 (NU)

		回答数	%
全体		1500	100.0
平均値			54.29
最小値			30.00
最大値			79.00

SC3 あなたのお住まい(都道府県)をお知らせください。(SA)
(1500名が「千葉県」と回答したため、表の記載は省略)

SC4 あなたのお住まい(市区町村)をお知らせください。(SA)

		回答数	%
全体		1500	100.0
1	千葉市中央区	346	23.1
2	千葉市美浜区	256	17.1
3	千葉市花見川区	276	18.4
4	千葉市稲毛区	249	16.6
5	千葉市若葉区	200	13.3
6	千葉市緑区	173	11.5
7	上記以外の市町村	0	0.0

SC5 あなたの配偶関係を教えてください。(SA)

		回答数	%
全体		1500	100.0
1	未婚	370	24.7
2	既婚	970	64.7
3	離別・死別	160	10.7

Q1 あなた自身についておたずねします。あてはまるものすべて選択してください。(MA)

		回答数	%
全体		1500	100.0
1	短大・高専、専門学校を卒業している	297	19.8
2	大学・大学院を卒業している	582	38.8
3	現在、フルタイムで仕事をしている	571	38.1
4	現在、パートタイムで仕事をしている	216	14.4
5	現在、一人暮らしである	238	15.9
6	現在、同居家族のなかに「12歳以下の者」がいる	160	10.7
7	現在、同居家族のなかに「65～74歳の者」(あなた自身を含む)がいる	308	20.5
8	現在、同居家族のなかに「75歳以上の者」(あなた自身を含む)がいる	211	14.1
9	一戸建てである	562	37.5
10	持ち家である	864	57.6
11	現在のお住まいに住まわれてから20年以上である	523	34.9
12	千葉市に住まわれてから20年以上である	855	57.0
13	災害時の避難場所を知っている	729	48.6
14	町内自治会(マンションの管理組合は除く)に加入している	580	38.7
15	これまでに町内自治会の役員を経験したことがある	290	19.3
16	これまでに集合住宅の管理組合の役員を経験したことがある	209	13.9
17	あてはまるものはない	29	1.9

Q1SQ_1 あなたやあなたの同居家族は、町内自治会活動にどの程度参加していますか。／清掃美化活動（ゴミステーションの清掃など）（S A）

		回答数	%
全体		580	100.0
1	よく参加している	166	28.6
2	たまに参加している	135	23.3
3	ほとんど参加していない	70	12.1
4	全く参加していない	97	16.7
5	活動がない	71	12.2
6	活動をしているか、わからない	41	7.1

Q1SQ_2 あなたやあなたの同居家族は、町内自治会活動にどの程度参加していますか。／環境整備活動（公園清掃や花植えなど）（S A）

		回答数	%
全体		580	100.0
1	よく参加している	44	7.6
2	たまに参加している	83	14.3
3	ほとんど参加していない	93	16.0
4	全く参加していない	155	26.7
5	活動がない	121	20.9
6	活動をしているか、わからない	84	14.5

Q1SQ_3 あなたやあなたの同居家族は、町内自治会活動にどの程度参加していますか。／防災活動（防災訓練など）（S A）

		回答数	%
全体		580	100.0
1	よく参加している	65	11.2
2	たまに参加している	149	25.7
3	ほとんど参加していない	104	17.9
4	全く参加していない	136	23.4
5	活動がない	66	11.4
6	活動をしているか、わからない	60	10.3

Q1SQ_4 あなたやあなたの同居家族は、町内自治会活動にどの程度参加していますか。／防犯活動（夜間見回りなど）（S A）

		回答数	%
全体		580	100.0
1	よく参加している	36	6.2
2	たまに参加している	47	8.1
3	ほとんど参加していない	113	19.5
4	全く参加していない	206	35.5
5	活動がない	116	20.0
6	活動をしているか、わからない	62	10.7

Q1SQ_5 あなたやあなたの同居家族は、町内自治会活動にどの程度参加していますか。／交通安全指導（登下校の見守り、教室開催など）（SA）

		回答数	%
全体		580	100.0
1	よく参加している	15	2.6
2	たまに参加している	33	5.7
3	ほとんど参加していない	95	16.4
4	全く参加していない	242	41.7
5	活動がない	128	22.1
6	活動をしているか、わからない	67	11.6

Q1SQ_6 あなたやあなたの同居家族は、町内自治会活動にどの程度参加していますか。／地域福祉活動（高齢者の生活支援、見守りなど）（SA）

		回答数	%
全体		580	100.0
1	よく参加している	15	2.6
2	たまに参加している	26	4.5
3	ほとんど参加していない	95	16.4
4	全く参加していない	227	39.1
5	活動がない	120	20.7
6	活動をしているか、わからない	97	16.7

Q1SQ_7 あなたやあなたの同居家族は、町内自治会活動にどの程度参加していますか。／交流・親睦活動（お祭りや敬老会など）（SA）

		回答数	%
全体		580	100.0
1	よく参加している	51	8.8
2	たまに参加している	108	18.6
3	ほとんど参加していない	132	22.8
4	全く参加していない	175	30.2
5	活動がない	64	11.0
6	活動をしているか、わからない	50	8.6

Q1SQ_8 あなたやあなたの同居家族は、町内自治会活動にどの程度参加していますか。／スポーツ・健康増進活動（運動会・ラジオ体操など）（SA）

		回答数	%
全体		580	100.0
1	よく参加している	30	5.2
2	たまに参加している	64	11.0
3	ほとんど参加していない	108	18.6
4	全く参加していない	221	38.1
5	活動がない	96	16.6
6	活動をしているか、わからない	61	10.5

Q1SQ_9 あなたやあなたの同居家族は、町内自治会活動にどの程度参加していますか。／総会（SA）

		回答数	%
全体		580	100.0
1	よく参加している	80	13.8
2	たまに参加している	142	24.5
3	ほとんど参加していない	134	23.1
4	全く参加していない	158	27.2
5	活動がない	28	4.8
6	活動をしているか、わからない	38	6.6

Q1SQ_10 あなたやあなたの同居家族は、町内自治会活動にどの程度参加していますか。／広報活動（回覧板、身近な情報の提供など）（SA）

		回答数	%
全体		580	100.0
1	よく参加している	190	32.8
2	たまに参加している	128	22.1
3	ほとんど参加していない	71	12.2
4	全く参加していない	120	20.7
5	活動がない	34	5.9
6	活動をしているか、わからない	37	6.4

Q2_1 あなたが今、住んでいる地域の町内自治会は以下の活動に活発に取り組んでいると思いますか。／清掃美化活動（ごみステーションの清掃など）（SA）

		回答数	%
全体		1500	100.0
1	とてもそう思う	187	12.5
2	そう思う	733	48.9
3	そう思わない	392	26.1
4	全くそう思わない	188	12.5

Q2_2 あなたが今、住んでいる地域の町内自治会は以下の活動に活発に取り組んでいると思いますか。／環境整備活動（公園清掃や花植えなど）（SA）

		回答数	%
全体		1500	100.0
1	とてもそう思う	139	9.3
2	そう思う	655	43.7
3	そう思わない	473	31.5
4	全くそう思わない	233	15.5

Q2_3 あなたが今、住んでいる地域の町内自治会は以下の活動に活発に取り組んでいると思いますか。／防災活動（防災訓練など）（SA）

		回答数	%
全体		1500	100.0
1	とてもそう思う	150	10.0
2	そう思う	612	40.8
3	そう思わない	500	33.3
4	全くそう思わない	238	15.9

Q2_4 あなたが今、住んでいる地域の町内自治会は以下の活動に活発に取り組んでいると思いますか。／防犯活動（夜間見回りなど）（S A）

		回答数	%
全体		1500	100.0
1	とてもそう思う	118	7.9
2	そう思う	502	33.5
3	そう思わない	588	39.2
4	全くそう思わない	292	19.5

Q2_5 あなたが今、住んでいる地域の町内自治会は以下の活動に活発に取り組んでいると思いますか。／交通安全指導（登下校の見守り、教室開催など）（S A）

		回答数	%
全体		1500	100.0
1	とてもそう思う	106	7.1
2	そう思う	569	37.9
3	そう思わない	551	36.7
4	全くそう思わない	274	18.3

Q2_6 あなたが今、住んでいる地域の町内自治会は以下の活動に活発に取り組んでいると思いますか。／地域福祉活動（高齢者の生活支援、見守りなど）（S A）

		回答数	%
全体		1500	100.0
1	とてもそう思う	94	6.3
2	そう思う	483	32.2
3	そう思わない	659	43.9
4	全くそう思わない	264	17.6

Q2_7 あなたが今、住んでいる地域の町内自治会は以下の活動に活発に取り組んでいると思いますか。／交流・親睦活動（お祭りや敬老会など）（S A）

		回答数	%
全体		1500	100.0
1	とてもそう思う	146	9.7
2	そう思う	601	40.1
3	そう思わない	517	34.5
4	全くそう思わない	236	15.7

Q2_8 あなたが今、住んでいる地域の町内自治会は以下の活動に活発に取り組んでいると思いますか。／スポーツ・健康増進活動（運動会・ラジオ体操など）（S A）

		回答数	%
全体		1500	100.0
1	とてもそう思う	95	6.3
2	そう思う	491	32.7
3	そう思わない	633	42.2
4	全くそう思わない	281	18.7

Q2_9 あなたが今、住んでいる地域の町内自治会は以下の活動に活発に取り組んでいると思いますか。／総会（S A）

		回答数	%
全体		1500	100.0
1	とてもそう思う	179	11.9
2	そう思う	573	38.2
3	そう思わない	525	35.0
4	全くそう思わない	223	14.9

Q2_10 あなたが今、住んでいる地域の町内自治会は以下の活動に活発に取り組んでいると思いますか。／広報活動（回覧板、身近な情報の提供など）（S A）

		回答数	%
全体		1500	100.0
1	とてもそう思う	212	14.1
2	そう思う	644	42.9
3	そう思わない	440	29.3
4	全くそう思わない	204	13.6

Q3_1 あなたは、以下の項目についてどう思いますか。／ほとんどの人は信頼できる（S A）

		回答数	%
全体		1500	100.0
1	そう思う	100	6.7
2	ややそう思う	651	43.4
3	あまりそう思わない	569	37.9
4	そう思わない	180	12.0

Q3_2 あなたは、以下の項目についてどう思いますか。／たいていの人は、人から信頼された場合、同じように信頼する（S A）

		回答数	%
全体		1500	100.0
1	そう思う	122	8.1
2	ややそう思う	822	54.8
3	あまりそう思わない	440	29.3
4	そう思わない	116	7.7

Q3_3 あなたは、以下の項目についてどう思いますか。／ほとんどの人は他人を信頼している（S A）

		回答数	%
全体		1500	100.0
1	そう思う	59	3.9
2	ややそう思う	552	36.8
3	あまりそう思わない	711	47.4
4	そう思わない	178	11.9

Q3_4 あなたは、以下の項目についてどう思いますか。／ほとんどの人は基本的に正直である（S A）

		回答数	%
全体		1500	100.0
1	そう思う	71	4.7
2	ややそう思う	712	47.5
3	あまりそう思わない	535	35.7
4	そう思わない	182	12.1

Q3_5 あなたは、以下の項目についてどう思いますか。／私は人を信頼する方である（S A）

		回答数	%
全体		1500	100.0
1	そう思う	124	8.3
2	ややそう思う	793	52.9
3	あまりそう思わない	448	29.9
4	そう思わない	135	9.0

Q3_6 あなたは、以下の項目についてどう思いますか。／ほとんどの人は基本的に善良で親切である（S A）

		回答数	%
全体		1500	100.0
1	そう思う	98	6.5
2	ややそう思う	775	51.7
3	あまりそう思わない	497	33.1
4	そう思わない	130	8.7

Q4_1 あなたは、以下の項目についてどう思いますか。／地域の人は信頼できる（S A）

		回答数	%
全体		1500	100.0
1	そう思う	111	7.4
2	ややそう思う	776	51.7
3	あまりそう思わない	477	31.8
4	そう思わない	136	9.1

Q4_2 あなたは、以下の項目についてどう思いますか。／地域の人は、人から信頼された場合、同じように信頼する（S A）

		回答数	%
全体		1500	100.0
1	そう思う	121	8.1
2	ややそう思う	851	56.7
3	あまりそう思わない	413	27.5
4	そう思わない	115	7.7

Q4_3 あなたは、以下の項目についてどう思いますか。／地域の人は他人を信頼している（S A）

		回答数	%
全体		1500	100.0
1	そう思う	83	5.5
2	ややそう思う	697	46.5
3	あまりそう思わない	588	39.2
4	そう思わない	132	8.8

Q4_4 あなたは、以下の項目についてどう思いますか。／地域の人は基本的に正直である（S A）

		回答数	%
全体		1500	100.0
1	そう思う	103	6.9
2	ややそう思う	766	51.1
3	あまりそう思わない	497	33.1
4	そう思わない	134	8.9

Q4_5 あなたは、以下の項目についてどう思いますか。／私は地域の人を信頼する方である（S A）

		回答数	%
全体		1500	100.0
1	そう思う	109	7.3
2	ややそう思う	763	50.9
3	あまりそう思わない	489	32.6
4	そう思わない	139	9.3

Q4_6 あなたは、以下の項目についてどう思いますか。／地域の人は基本的に善良で親切である（S A）

		回答数	%
全体		1500	100.0
1	そう思う	117	7.8
2	ややそう思う	822	54.8
3	あまりそう思わない	445	29.7
4	そう思わない	116	7.7

Q5_1 あなたは今、住んでいる地域についてどのように感じていますか。／このまちはリラックスできる（S A）

		回答数	%
全体		1500	100.0
1	あてはまる	242	16.1
2	どちらかといえばあてはまる	968	64.5
3	どちらかといえばあてはまらない	224	14.9
4	あてはまらない	66	4.4

Q5_2 あなたは今、住んでいる地域についてどのように感じていますか。／雰囲気や土地柄が気に入っている（S A）

		回答数	%
全体		1500	100.0
1	あてはまる	257	17.1
2	どちらかといえばあてはまる	887	59.1
3	どちらかといえばあてはまらない	271	18.1
4	あてはまらない	85	5.7

Q5_3 あなたは今、住んでいる地域についてどのように感じていますか。／このまちを歩くのは気持ちよい（S A）

		回答数	%
全体		1500	100.0
1	あてはまる	243	16.2
2	どちらかといえばあてはまる	824	54.9
3	どちらかといえばあてはまらない	355	23.7
4	あてはまらない	78	5.2

Q5_4 あなたは今、住んでいる地域についてどのように感じていますか。／お気に入りの場所がある（S A）

		回答数	%
全体		1500	100.0
1	あてはまる	195	13.0
2	どちらかといえばあてはまる	620	41.3
3	どちらかといえばあてはまらない	534	35.6
4	あてはまらない	151	10.1

Q5_5 あなたは今、住んでいる地域についてどのように感じていますか。／自分のまちという感じがする（S A）

		回答数	%
全体		1500	100.0
1	あてはまる	175	11.7
2	どちらかといえばあてはまる	696	46.4
3	どちらかといえばあてはまらない	490	32.7
4	あてはまらない	139	9.3

Q5_6 あなたは今、住んでいる地域についてどのように感じていますか。／このまちが好きだ（S A）

		回答数	%
全体		1500	100.0
1	あてはまる	243	16.2
2	どちらかといえばあてはまる	835	55.7
3	どちらかといえばあてはまらない	327	21.8
4	あてはまらない	95	6.3

Q5_7 あなたは今、住んでいる地域についてどのように感じていますか。／まちに思い出がある（S A）

		回答数	%
全体		1500	100.0
1	あてはまる	177	11.8
2	どちらかといえばあてはまる	606	40.4
3	どちらかといえばあてはまらない	523	34.9
4	あてはまらない	194	12.9

Q5_8 あなたは今、住んでいる地域についてどのように感じていますか。／まちに自分の居場所がある（S A）

		回答数	%
全体		1500	100.0
1	あてはまる	176	11.7
2	どちらかといえばあてはまる	747	49.8
3	どちらかといえばあてはまらない	439	29.3
4	あてはまらない	138	9.2

Q5_9 あなたは今、住んでいる地域についてどのように感じていますか。／このまちは住みやすい（S A）

		回答数	%
全体		1500	100.0
1	あてはまる	296	19.7
2	どちらかといえばあてはまる	911	60.7
3	どちらかといえばあてはまらない	218	14.5
4	あてはまらない	75	5.0

Q5_10 あなたは今、住んでいる地域についてどのように感じていますか。／このまちにずっと住みたい（S A）

		回答数	%
全体		1500	100.0
1	あてはまる	264	17.6
2	どちらかといえばあてはまる	767	51.1
3	どちらかといえばあてはまらない	340	22.7
4	あてはまらない	129	8.6

Q6_1 あなたは、以下の項目についてどう思いますか。／この地域の住民は、考え方や暮らしが似ている（S A）

		回答数	%
全体		1500	100.0
1	とてもそう思う	38	2.5
2	そう思う	388	25.9
3	どちらでもない	770	51.3
4	あまりそう思わない	227	15.1
5	全くそう思わない	77	5.1

Q6_2 あなたは、以下の項目についてどう思いますか。／この地域の住民は、みなお互い顔見知りだ（S A）

		回答数	%
全体		1500	100.0
1	とてもそう思う	37	2.5
2	そう思う	265	17.7
3	どちらでもない	594	39.6
4	あまりそう思わない	429	28.6
5	全くそう思わない	175	11.7

Q6_3 あなたは、以下の項目についてどう思いますか。／この地域の住民は、お互いに良い関係を保っている（S A）

		回答数	%
全体		1500	100.0
1	とてもそう思う	43	2.9
2	そう思う	432	28.8
3	どちらでもない	720	48.0
4	あまりそう思わない	237	15.8
5	全くそう思わない	68	4.5

Q6_4 あなたは、以下の項目についてどう思いますか。／この地域で問題が起きても、住民で解決できる（S A）

		回答数	%
全体		1500	100.0
1	とてもそう思う	37	2.5
2	そう思う	293	19.5
3	どちらでもない	743	49.5
4	あまりそう思わない	308	20.5
5	全くそう思わない	119	7.9

Q6_5 あなたは、以下の項目についてどう思いますか。／災害が起きた時には、近所の人は団結して行動するだろう（S A）

		回答数	%
全体		1500	100.0
1	とてもそう思う	60	4.0
2	そう思う	517	34.5
3	どちらでもない	626	41.7
4	あまりそう思わない	210	14.0
5	全くそう思わない	87	5.8

Q6_6 あなたは、以下の項目についてどう思いますか。／犯罪を見かけたら、近所の人は警察に通報するだろう（S A）

		回答数	%
全体		1500	100.0
1	とてもそう思う	139	9.3
2	そう思う	747	49.8
3	どちらでもない	461	30.7
4	あまりそう思わない	108	7.2
5	全くそう思わない	45	3.0

Q6_7 あなたは、以下の項目についてどう思いますか。／困っている子供を見かけたら、近所の人はその子を助けるだろう（S A）

		回答数	%
全体		1500	100.0
1	とてもそう思う	107	7.1
2	そう思う	721	48.1
3	どちらでもない	520	34.7
4	あまりそう思わない	111	7.4
5	全くそう思わない	41	2.7

Q6_8 あなたは、以下の項目についてどう思いますか。／この地域の町内自治会は民主的に運営されていると思う（S A）

		回答数	%
全体		1500	100.0
1	とてもそう思う	81	5.4
2	そう思う	522	34.8
3	どちらでもない	674	44.9
4	あまりそう思わない	149	9.9
5	全くそう思わない	74	4.9

Q6_9 あなたは、以下の項目についてどう思いますか。／この地域の町内自治会の役員の負担は重いと思う（S A）

		回答数	%
全体		1500	100.0
1	とてもそう思う	122	8.1
2	そう思う	438	29.2
3	どちらでもない	743	49.5
4	あまりそう思わない	147	9.8
5	全くそう思わない	50	3.3

Q6_10 あなたは、以下の項目についてどう思いますか。／町内自治会の運営は、SNSの利用など「デジタル化」を進めるべきだと思う（S A）

		回答数	%
全体		1500	100.0
1	とてもそう思う	135	9.0
2	そう思う	419	27.9
3	どちらでもない	717	47.8
4	あまりそう思わない	172	11.5
5	全くそう思わない	57	3.8

Q7_1 あなたは今、住んでいる地域で以下の地域活動に参加していますか。／健康や医療サービスに関係した活動（ラジオ体操等）（SA）

		回答数	%
全体		1500	100.0
1	よく参加している	24	1.6
2	たまに参加している	103	6.9
3	ほとんど参加していない	373	24.9
4	全く参加していない	1000	66.7

Q7_2 あなたは今、住んでいる地域で以下の地域活動に参加していますか。／高齢者を対象にした活動？（地域での見守り等）（SA）

		回答数	%
全体		1500	100.0
1	よく参加している	23	1.5
2	たまに参加している	85	5.7
3	ほとんど参加していない	378	25.2
4	全く参加していない	1014	67.6

Q7_3 あなたは今、住んでいる地域で以下の地域活動に参加していますか。／障がい者を対象とした活動（生活支援ボランティア等）（SA）

		回答数	%
全体		1500	100.0
1	よく参加している	17	1.1
2	たまに参加している	68	4.5
3	ほとんど参加していない	351	23.4
4	全く参加していない	1064	70.9

Q7_4 あなたは今、住んでいる地域で以下の地域活動に参加していますか。／子どもを対象とした活動（子ども食堂等）（SA）

		回答数	%
全体		1500	100.0
1	よく参加している	17	1.1
2	たまに参加している	106	7.1
3	ほとんど参加していない	342	22.8
4	全く参加していない	1035	69.0

Q7_5 あなたは今、住んでいる地域で以下の地域活動に参加していますか。／スポーツ・文化・芸術・学術に関係した活動（運動会等）（SA）

		回答数	%
全体		1500	100.0
1	よく参加している	33	2.2
2	たまに参加している	140	9.3
3	ほとんど参加していない	364	24.3
4	全く参加していない	963	64.2

Q7_6 あなたは今、住んでいる地域で以下の地域活動に参加していますか。／まちづくりのための活動（お祭り 等）（SA）

		回答数	%
全体		1500	100.0
1	よく参加している	47	3.1
2	たまに参加している	264	17.6
3	ほとんど参加していない	362	24.1
4	全く参加していない	827	55.1

Q7_7 あなたは今、住んでいる地域で以下の地域活動に参加していますか。／安全な生活のための活動（防犯パトロール 等）（SA）

		回答数	%
全体		1500	100.0
1	よく参加している	39	2.6
2	たまに参加している	131	8.7
3	ほとんど参加していない	357	23.8
4	全く参加していない	973	64.9

Q7_8 あなたは今、住んでいる地域で以下の地域活動に参加していますか。／自然や環境を守るための活動（公園清掃 等）（SA）

		回答数	%
全体		1500	100.0
1	よく参加している	44	2.9
2	たまに参加している	201	13.4
3	ほとんど参加していない	332	22.1
4	全く参加していない	923	61.5

Q7_9 あなたは今、住んでいる地域で以下の地域活動に参加していますか。／災害に関係した活動（避難訓練 等）（SA）

		回答数	%
全体		1500	100.0
1	よく参加している	54	3.6
2	たまに参加している	249	16.6
3	ほとんど参加していない	330	22.0
4	全く参加していない	867	57.8

Q7_10 あなたは今、住んでいる地域で以下の地域活動に参加していますか。／異文化交流・国際協力に関係した活動（交流イベントへの参加 等）（SA）

		回答数	%
全体		1500	100.0
1	よく参加している	19	1.3
2	たまに参加している	83	5.5
3	ほとんど参加していない	342	22.8
4	全く参加していない	1056	70.4

Q8_1 あなたは今、住んでいる地域に以下のような方がいますか。／会うとあいさつをする人（S A）

		回答数	%
全体		1500	100.0
1	たくさんいる	279	18.6
2	数人いる	1024	68.3
3	いない	197	13.1

Q8_2 あなたは今、住んでいる地域に以下のような方がいますか。／会うと立ち話をする人（S A）

		回答数	%
全体		1500	100.0
1	たくさんいる	73	4.9
2	数人いる	734	48.9
3	いない	693	46.2

Q8_3 あなたは今、住んでいる地域に以下のような方がいますか。／おみやげを渡す人（S A）

		回答数	%
全体		1500	100.0
1	たくさんいる	42	2.8
2	数人いる	497	33.1
3	いない	961	64.1

Q8_4 あなたは今、住んでいる地域に以下のような方がいますか。／お互いの家を訪問しあう人（S A）

		回答数	%
全体		1500	100.0
1	たくさんいる	29	1.9
2	数人いる	309	20.6
3	いない	1162	77.5

Q8_5 あなたは今、住んでいる地域に以下のような方がいますか。／家族ぐるみの付き合いがある人（S A）

		回答数	%
全体		1500	100.0
1	たくさんいる	32	2.1
2	数人いる	349	23.3
3	いない	1119	74.6

調 査 票

Q1

あなた自身についておたずねします。

あてはまるものすべて選択してください。(いくつでも)

- 1 短大・高専、専門学校を卒業している
- 2 大学・大学院を卒業している
- 3 現在、フルタイムで仕事をしている
- 4 現在、パートタイムで仕事をしている
- 5 現在、一人暮らしである
- 6 現在、同居家族のなかに「12歳以下の者」がいる
- 7 現在、同居家族のなかに「65～74歳の者」(あなた自身を含む)がいる
- 8 現在、同居家族のなかに「75歳以上の者」(あなた自身を含む)がいる
- 9 一戸建てである
- 10 持ち家である
- 11 現在のお住まいに住まわれてから20年以上である
- 12 千葉市に住まわれてから20年以上である
- 13 災害時の避難場所を知っている
- 14 町内自治会(マンションの管理組合は除く)に加入している
- 15 これまでに町内自治会の役員を経験したことがある
- 16 これまでに集合住宅の管理組合の役員を経験したことがある
- 17 あてはまるものはない

次へ

Q1SQ

あなたやあなたの同居家族は、町内自治会活動にどの程度参加していますか。
(それぞれひとつずつ)

	よく参加している	たまに参加している	ほとんど参加していない	全く参加していない	活動がない	活動をしているか、わからない
1 清掃美化活動(ごみステーションの清掃など)	1○	2○	3○	4○	5○	6○
2 環境整備活動(公園清掃や花植えなど)	1○	2○	3○	4○	5○	6○
3 防災活動(防災訓練など)	1○	2○	3○	4○	5○	6○
4 防犯活動(夜間見回りなど)	1○	2○	3○	4○	5○	6○
5 交通安全指導(登下校の見守り、教室開催など)	1○	2○	3○	4○	5○	6○
6 地域福祉活動(高齢者の生活支援、見守りなど)	1○	2○	3○	4○	5○	6○
7 交流・親睦活動(お祭りや敬老会など)	1○	2○	3○	4○	5○	6○
8 スポーツ・健康増進活動(運動会・ラジオ体操など)	1○	2○	3○	4○	5○	6○
9 総会	1○	2○	3○	4○	5○	6○
10 広報活動(回覧板、身近な情報の提供など)	1○	2○	3○	4○	5○	6○
	よく参加している	たまに参加している	ほとんど参加していない	全く参加していない	活動がない	活動をしているか、わからない

次へ

Q2

あなたが今、住んでいる地域の町内自治会は以下の活動に活発に取り組んでいると思いますか。(それぞれひとつずつ)

	と て も そ う 思 う	そ う 思 う	そ う 思 わ な い	全 く そ う 思 わ な い
1 清掃美化活動(ごみステーションの清掃など)	1○	2○	3○	4○
2 環境整備活動(公園清掃や花植えなど)	1○	2○	3○	4○
3 防災活動(防災訓練など)	1○	2○	3○	4○
4 防犯活動(夜間見回りなど)	1○	2○	3○	4○
5 交通安全指導(登下校の見守り、教室開催など)	1○	2○	3○	4○
6 地域福祉活動(高齢者の生活支援、見守りなど)	1○	2○	3○	4○
7 交流・親睦活動(お祭りや敬老会など)	1○	2○	3○	4○
8 スポーツ・健康増進活動(運動会・ラジオ体操など)	1○	2○	3○	4○
9 総会	1○	2○	3○	4○
10 広報活動(回覧板、身近な情報の提供など)	1○	2○	3○	4○

Q3

あなたは、以下の項目についてどう思いますか。(それぞれひとつずつ)

	そ う 思 う	や や そ う 思 う	あ ま り そ う 思 わ な い	そ う 思 わ な い
1 ほとんどの人は信頼できる	1○	2○	3○	4○
2 たいていの人は、人から信頼された場合、同じように信頼する	1○	2○	3○	4○
3 ほとんどの人は他人を信頼している	1○	2○	3○	4○
4 ほとんどの人は基本的に正直である	1○	2○	3○	4○
5 私は人を信頼する方である	1○	2○	3○	4○
6 ほとんどの人は基本的に善良で親切である	1○	2○	3○	4○

次へ

0 50 100(%)

Q4

あなたは、以下の項目についてどう思いますか。(それぞれひとつずつ)

	そう 思う	や や そう 思う	あ ま り そ う 思 わ な い	そ う 思 わ な い
1 地域の人には信頼できる	1○	2○	3○	4○
2 地域の人には、人から信頼された場合、同じように信頼する	1○	2○	3○	4○
3 地域の人には他人を信頼している	1○	2○	3○	4○
4 地域の人には基本的に正直である	1○	2○	3○	4○
5 私は地域の人を信頼する方である	1○	2○	3○	4○
6 地域の人には基本的に善良で親切である	1○	2○	3○	4○

次へ

0

50

100(%)

Q5

あなたは今、住んでいる地域についてどのように感じていますか。
 (それぞれひとつずつ)

あ	ど	ど	あ
て	あ	あ	て
は	て	て	は
ま	は	は	ま
る	ま	ま	ら
	る	ら	い
	え	え	い
	ば	ば	

- | | | | | | |
|----|-----------------|---|---|---|---|
| 1 | このまちはリラックスできる | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 2 | 雰囲気や土地柄が気に入っている | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 3 | このまちを歩くのは気持ちよい | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 4 | お気に入りの場所がある | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 5 | 自分のまちという感じがする | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 6 | このまちが好きだ | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 7 | まちに思い出がある | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 8 | まちに自分の居場所がある | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 9 | このまちは住みやすい | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 10 | このまちにずっと住みたい | 1 | 2 | 3 | 4 |

Q6

あなたは、以下の項目についてどう思いますか。(それぞれひとつずつ)

	と て も そ う 思 う	そ う 思 う	ど ち ら で も な い	あ ま り そ う 思 わ な い	全 く そ う 思 わ な い
1 この地域の住民は、考え方や暮らしぶりが似ている	1○	2○	3○	4○	5○
2 この地域の住民は、みなお互い顔見知りだ	1○	2○	3○	4○	5○
3 この地域の住民は、お互いに良い関係を保っている	1○	2○	3○	4○	5○
4 この地域で問題が起きても、住民で解決できる	1○	2○	3○	4○	5○
5 災害が起きた時には、近所の人や団結して行動するだろう	1○	2○	3○	4○	5○
6 犯罪を見かけたら、近所の人や警察に通報するだろう	1○	2○	3○	4○	5○
7 困っている子供を見かけたら、近所の人はその子を助けるだろう	1○	2○	3○	4○	5○
8 この地域の町内自治会は民主的に運営されていると思う	1○	2○	3○	4○	5○
9 この地域の町内自治会の役員の負担は重いと思う	1○	2○	3○	4○	5○
10 町内自治会の運営は、SNSの利用など「デジタル化」を進めるべきだと思う	1○	2○	3○	4○	5○

Q7

あなたは今、住んでいる地域で以下の地域活動に参加していますか。
(それぞれひとつずつ)

	よく参加している	たまに参加している	ほとんど参加していない	全く参加していない
1 健康や医療サービスに関係した活動（ラジオ体操 等）	1○	2○	3○	4○
2 高齢者を対象にした活動（地域での見守り 等）	1○	2○	3○	4○
3 障がい者を対象とした活動（生活支援ボランティア 等）	1○	2○	3○	4○
4 子どもを対象とした活動（子ども食堂 等）	1○	2○	3○	4○
5 スポーツ・文化・芸術・学術に関係した活動（運動会 等）	1○	2○	3○	4○
6 まちづくりのための活動（お祭り 等）	1○	2○	3○	4○
7 安全な生活のための活動（防犯パトロール 等）	1○	2○	3○	4○
8 自然や環境を守るための活動（公園清掃 等）	1○	2○	3○	4○
9 災害に関係した活動（避難訓練 等）	1○	2○	3○	4○
10 異文化交流・国際協力に関係した活動（交流イベントへの参加 等）	1○	2○	3○	4○

次へ

0 50 100(%)

Q8

あなたは今、住んでいる地域に以下のような方がいますか。(それぞれひとつずつ)

	た く さ ん い る	数 人 い る	い な い
1 会うとあいさつをする人	1○	2○	3○
2 会うと立ち話をする人	1○	2○	3○
3 おみやげを渡す人	1○	2○	3○
4 お互いの家を訪問しあう人	1○	2○	3○
5 家族ぐるみの付き合いがある人	1○	2○	3○

送信

0 50 100(%)

令和6年度 社会調査実習報告書 第13号

発行：2025年3月31日

発行者：淑徳大学コミュニティ政策学部

〒260-8701

千葉県中央区大巖寺町200

TEL 043-265-7331

印刷：株式会社 正文社

